

## 【2005年2月期中間決算説明会 報告骨子】

IRサイトに掲載している「2005年2月期中間決算説明会資料」とともにご覧ください。

### 1. 中間決算（連結）の概要について（資料P1～2）

#### （1）売上高：55億76百万円（前年同期比+40.3%）

化成品部門の売上高は前年同期比0.9%と微減収となるも、機械部門は当社及び米国子会社 VECTOR CORPORATION とともに、期初来、高水準の受注残高に支えられ、73.4%の大幅増収となる。

#### （2）営業利益：1億79百万円（前年同期は1億24百万円）

売上高の伸長による売上総利益の増加と、経費圧縮に努めた結果、営業利益は前年同期の1億24百万円の赤字から1億79百万円の黒字に転換。

#### （3）その他

経常利益：2億06百万円（前年同期は1億15百万円の赤字）

当期純利益：90百万円（前年同期は1億46百万円の赤字）

### 2. 部門別売上高（連結）について（資料P3）

#### （1）機械部門：38億24百万円（前年同期比+73.4%）

国内機械部門（フロイント産業）の売上高は前年同期比74.4%の増収とともに、米国子会社 VECTOR CORPORATION も同社創業以来最高の売上高達成の見通しであり（前期は同社創業以来最高の受注高を記録）、前年同期比86.0%の大幅増収。

#### （2）化成品部門：17億52百万円（前年同期比0.9%）

機能性添加剤の需要は引き続き伸長、食品品質保持剤も菓子業界の活況と相俟って注分量は高水準で推移したものの、治験薬製造受託事業を担う米国子会社 VPS CORPORATION では欧州向け治験基準をクリアすべく、大掛かりな施設改修工事の実施により一時受注見合わせとなり、部門としては微減収。

### 3. 個別中間決算（国内）の概要について（P4～5）

#### フロイント産業

全社売上高：40億85百万円（前年同期比+31.7%）

#### 《内訳：機械部門》

機械合計：23億69百万円（前年同期比+74.4%）

医薬：21億30百万円（同+141.6%）

産機：1億40百万円（同68.9%）

国際：99百万円（同+259.8%）

受注高：25億85百万円（同7.9%）

受注残高：24億19百万円（同3.0%）

産機向け売上は前期の大幅な伸びの反動減となったが、医薬向け売上は大幅増。

受注高・受注残高は前年同期比で減少なるも、足元の受注は堅調推移。通期では前期を上回る受注高を計画。

《内訳：化成品部門》

化成品：17億15百万円（前年同期比 1.5%）

機能性添加剤・治験薬製造受託：7億97百万円（前年同期比 6.5%）

食品品質保持剤及び栄養補助食品：9億17百万円（前年同期比+ 3.2%）

機能性添加剤の需要は引き続き伸長、食品品質保持剤も注文量増加により増収なるも、治験薬製造受託は一時受注見合わせにより、部門としては微減収。

通期では機能性添加剤、食品品質保持剤の伸びに支えられ、治験薬製造受託のマイナスを補い、部門としては増収の計画。

#### 4. 個別中間決算（海外）の概要について（P6）

##### （1）VECTOR CORPORATION

売上高：1,369.9万ドル（前年同期比+ 86.0%）

営業利益：67.0万ドル（前年同期は25.2万ドルの赤字）

受注高：856.0万ドル（前年同期比 35.3%）

受注残高：924.2万ドル（同 27.2%）

下期受注高は大幅増加し、通期では前期比 9.8%減まで回復の計画。

##### （2）VPS CORPORATION

売上高：106.4万ドル（前年同期比+ 38.4%）

営業利益：44.6万ドル（前年同期は71.0万ドルの赤字）

年間売上高300万ドル（月ベースでは25万ドルの売上）の安定確保を目指している。

#### 5. 第二次中期経営計画の総括（今期は最終年度）について（P7）

連結ROEは、4.5%～5.0%の見通し

3ヶ年通算の増収率は15.6%（売上増加に傾注）

主に海外事業を再構築

EPS（1株当り当期純利益）は大幅増加

来期よりスタートする第三次中期経営計画を策定中。

更なる事業の拡大、業容の伸長により、ステークホルダーの期待に応えたい。

以上